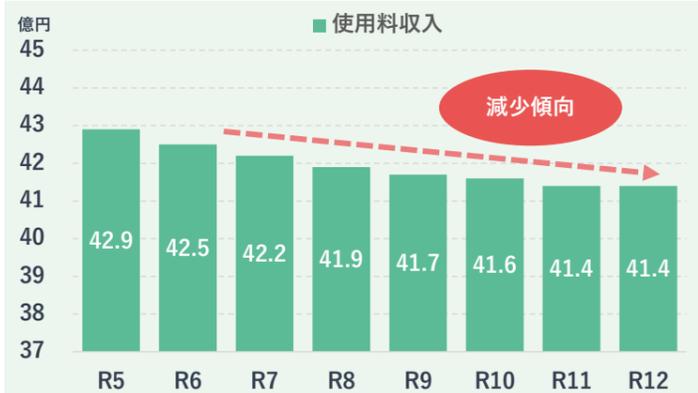


下水道事業の抱える課題

下水道事業は、現在は黒字を維持していますが、人口減少等による収入の減少、また、施設の老朽化による更新・維持管理経費の増大、さらには、災害対応等も含めた経営環境の悪化により、**数年後には赤字に転じる見込み**で、使用料の改定が避けられない状況となっています。

使用料収入の減少



施設老朽化による維持管理経費の増大



市民の暮らしを支え続ける重要なライフラインを将来の世代に引き継いでいくためには、施設の更新・維持管理を着実に実施していく必要があります。そのためには下水道使用料の改定により財源を確保し、経営基盤を強化することが必要となります。

下水道使用料の改定

下水道事業は、みなさまからいただく使用料収入で、汚水の処理費用をまかなうものとされていますが、現在の使用料収入ではまかなえていません。

使用料改定後の経費回収率の予測



経費回収率 = 下水道使用料収入 / 汚水処理にかかった費用

「経費回収率」が100%を下回る場合、汚水処理経費を使用料収入でまかなえていない状態であり、安定的な経営を継続するためには、適正な使用料収入を確保する必要があります。

算定期間を4年間とし、令和10年度に「経費回収率」100%を達成するためには、年間約4億円の収入増が必要となります。

今後とも安定的・継続的に下水道サービスを提供していくために、今回、**令和7年4月1日**から下水道使用料の改定を行います。

久留米市イメージキャラクター

くろっば



使用料改定についてのQ&A



Q 経営改善の取組みはおこなってきたの？

A 下水道事業の経営改善のため、収入の確保や経費の削減に向けて様々な取組みを行ってきました。

収入の確保

- ・下水道未接続世帯への訪問により接続率向上に努めました
- ・消化ガス発電により売電を行いました
- ・電力入札を導入し電力調達コストの削減に取り組みました

経費の削減

- ・施設運営や料金関連業務を民間事業者へ委託し、運営費等を削減しました
- ・省エネ設備の導入および施設運転時間の調整により、電力費を削減しました
- ・下水道管に流入する雨水や地下水の削減対策を行い、処理水量を削減しました

このほかにも、生活排水処理基本構想を見直し、令和6年度以降の下水道整備計画面積の大幅な縮減を行いました。



Q なぜ値上げ幅は9.96%なの？

A 今回改定する令和7年度からの4年間で、経費回収率が100%を達成するように試算をした結果、年間約4億円の収入増が必要であり、その値上げ幅が全体で9.96%になりました。



Q 使用料を値上げしたからもう安心なの？

A 今後も人口減少によって使用料収入が減少し、また施設の老朽化による更新・維持管理経費が増大していきます。そのため、引き続き経営基盤の強化や投資の合理化に取り組み、使用料収入の見直しを含めた定期的な経営状況の分析が必要です。

* 下水道への接続のお願い *

下水道整備が完了した区域で、より多くの人に下水道をご利用いただくと、生活環境づくりや下水道事業の経営に、より大きな効果をもたらします。速やかに接続いただきますようご協力よろしくお願いいたします。

